

# 集落営農を考えてみましょう！

## 1. まずは、家族で話し合しましょう

- ・体力的にいつまで農業をできるか…
- ・農業機械が壊れたら…
- ・農地が小さく、水入れや農作業に手間がかかる
- ・農地は荒らしたくない
- ・農地を人に貸すのは心配
- ・イノシシ等鳥獣被害が増えてきた



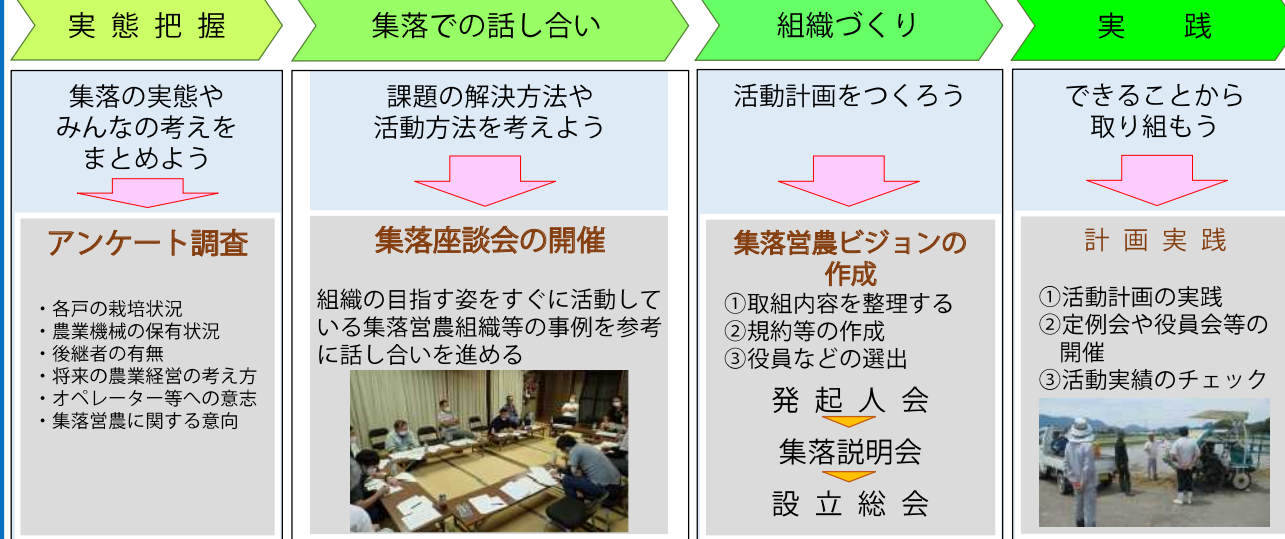
- ・休日はゆっくりしたい
- ・農作業のために仕事は休めない
- ・農地を誰かに預かってもらいたい
- ・新しい農業機械は高く買えない
- ・赤字の農業はしたくない
- ・もっと楽に農業がしたい

せめて一緒に農業をやってくれる仲間がいればいいのに…

集落営農があるじゃないか！

## 2. 集落営農組織づくりの手順例

- ①アンケート調査でみんなの意見(課題)を集約しましょう
- ②集約された意見(課題)について話し合しましょう
- ③地域にあった組織のあり方や目標(集落営農ビジョン)の作成しましょう



## 3. 集落営農組織の主な活動類型

### ①共同利用型

営農組織が農業機械を所有

機械貸出 → 機械利用料金

組織の構成農家が作業を実施

収入  
販売

機械を共同所有し、構成農家個々が作業を行います。

### ②作業受託型 (オペレーター型)

営農組織が農業機械を所有し、オペレーターが作業を実施

作業受託 → 作業料金

組織の構成農家

構成員外農家

収入  
販売

収入  
販売

機械を共同所有し、特定のオペレーターが作業を行います。

### ③協業経営型 (集落ぐるみ型)

組織の構成農家

共同作業 → 作業料金

営農組織が農業機械を所有

収入  
販売

機械の所有や労働(農作業)だけでなく、土地利用や農産物の出荷販売も一元的に行います。集落営農法人(農地所有適格法人)は農地を預かることも可能です。

### ④農業法人型

組織の組合員

共同作業 → 配当

営農組合・法人が機械を所有  
組合員等から機械・農地を借り上げ

収入  
販売

作業受託 → 作業料金  
組合員以外

【多様な集落営農で地域に合った形を！】 活動内容も運営形態も様々！ 集落の実態に応じた活動！

西讃農業改良普及センター